

令和2年度 「きょうと子育て応援施設」 実施報告書



令和3年3月

きょうと子育て環境日本一推進委員会

はじめに

お子様連れでの外出では、「休憩場所や授乳スポットがない」「泣き声やベビーカーが周囲の邪魔にならないか不安」「駐車場が遠く、安心して乗り降りできない」などの困りごとが多くあります。また、新型コロナウイルス感染症への感染を恐れて、外出をためらい、子育てに孤独感や心細さを感じている保護者も少なくありません。

このため、きょうと子育て環境日本一推進委員会では、京都府内の5つの商店街及び京都府と包括連携協定を締結している(株)セブン-イレブン・ジャパンと連携し、お子様連れでの外出を応援する「きょうと子育て応援施設」をモデル展開しました。この実施報告書は、本取組の効果を検証し、今後、京都府内の他の事業者・施設等で同様の取組を行っていただく際の参考としていただくことを目的に作成したものです。

目 次

1	取組の概要	1
2	利用者アンケート結果	4
3	「リビング京都」への読者意見	10
4	店舗アンケート・聴き取り結果	13
5	今後の取組に向けて	19

1 取組の概要

令和2年度には、京都府内の5つの商店街やセブン-イレブンの一部店舗を「きょうと子育て応援施設」（以下「子育て応援施設」）と位置づけ、モデル的に以下のようなお子様連れでの外出を応援する取組を実施しました。

（1）実施時期

令和3年2月1日（月）～3月12日（金）

（2）取組例

- ・ 設置型ベビーケアルームの設置、お子様連れ優先休憩スペースの提供
- ・ お子様連れの方向けの商品配達・一時預かりサービスの実施
- ・ お子様連れ優先駐車スペースの設定 など



セブン商店会（長岡京市）にモデル設置された設置型ベビーケアルーム「mamaro®」



セブン-イレブンではお子様連れ優先駐車スペースを路面シールでPR（セブン-イレブン長岡京開田一丁目店）

（3）対象利用者

小学生以下のお子様を同伴している方

（4）対象店舗

- ・ 下表の76店舗で実施
- ・ 実施店舗は、きょうと子育て応援パスポートアプリ「まもっぷ」や特設サイト※で店舗の情報や取組内容を紹介するとともに、店頭ステッカーやのぼりを掲出して利用者に周知・PR

※特設サイト URL https://pref-kyoto-kodomohagakumu.jp/ouen_spot/



店頭には、子育て応援施設のシンボルマーク（ベビーカーを押すまゆまる）をデザインしたステッカーやのぼりを掲出して分かりやすくPR。
ステッカーには、その施設で利用できる応援メニューを記載（いずれもセブン商店会）

<参加店舗一覧>

1 北野商店街（京都市上京区）〔14 店舗〕
サイクルショップ ジャムジャム、とれんど美容室、ゆめ工房、岡本修美堂、きたの昆布、千手堂、花藤、ウェーブ、friend、For You、ヤマダ時計店、フジカワ電化、京のなんば一番たこ杉、ほそだ化粧品店
2 京都三条会商店街（京都市中京区）〔19 店舗〕
京麺 田舎亭、リサイクル きもの朱雀、メガネのドルフィン、山田モーター商会、京菓子 たなかや、野菜・果物さんため、矢野自作園、お米の山形屋、増田商店、三条バスユニット、天ぷら 大橋屋、京都三条会商店街振興組合、高永株式会社、介護支援事務所三条大宮、ダイシン食料品店、クリーニングハットリ、パワーストーン コハクの月、鰻・総菜 馬場商店、京野菜 玉弁
3 七条中央サービス会（京都市下京区）〔19 店舗〕
魚晴、マスヤ、橋本酒店、あさだ、チロル、米九、パルマツオ、リビングショップ谷口、ぬくもり整骨院、花平、北尾ショップ、丸常、鳥寿、坂安、山定、カワモト薬局、京きさらぎ漬け 丹波、岩田呉服店、セントラル薬局
4 宇治橋通り商店街（宇治市）〔4 店舗〕
暮らし工房 Bar Kaguya、coconi、京都文教大学サテライトキャンパス、宇治橋通り商店街事務所
5 セブン商店会（長岡京市）〔7 店舗〕
cosme.nail.esthe ミントハウス、商店街活性化・創業者支援の拠点 Space7、サイクルショップ ポップ長岡店、シフォンケーキと雑貨のお店 &filica、茶亭楓庵、手づくり小物と雑貨のお店凸凹 DECO-BOCO、カットサロンホーク

6 セブン-イレブン（長岡京市、京田辺市、木津川市）〔13店舗〕

セブン-イレブン長岡京駅東口店、セブン-イレブン長岡京開田1丁目店、セブン-イレブン長岡京上八ノ坪店、セブン-イレブン長岡京セブン通り店、セブン-イレブン長岡京西ノ口店、セブン-イレブン長岡京馬場店（以上、長岡京市内）、セブン-イレブン京田辺三山木店、セブン-イレブン同志社山手店（以上、京田辺市内）、セブン-イレブン木津原田店、セブン-イレブン木津川城山台9丁目店、セブン-イレブン木津川台6丁目店、セブン-イレブン木津州見台1丁目店、セブン-イレブン山城上狛店（以上、木津川市内）

2 利用者アンケート結果

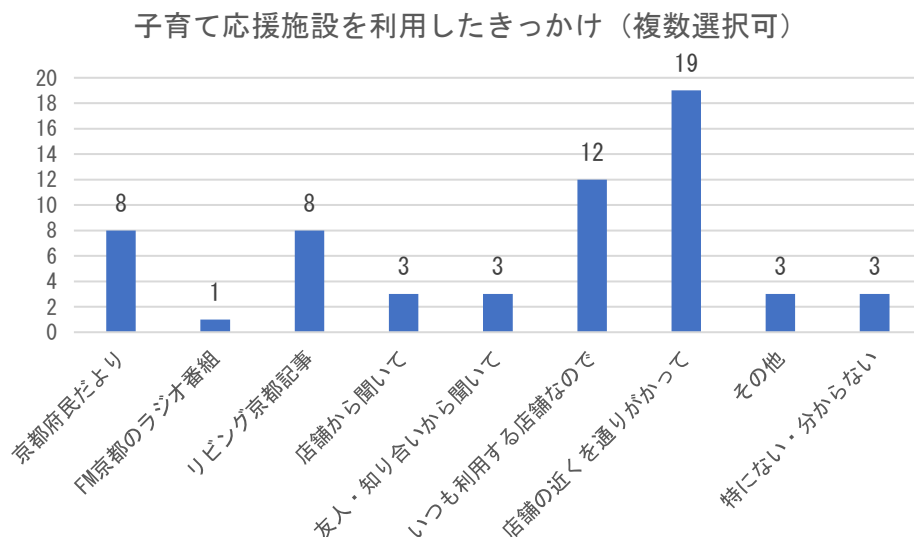
子育て応援施設の利用者数や利用満足度、今後の利用意向等を把握するため、きょうと子育て応援パスポートアプリ「まもっぷ」に利用者向けのアンケートページを作成し、アンケートを実施しました。

利用者からの回答は以下のとおりです（全回答数：51名）。

（1）子育て応援施設を利用したきっかけ（複数選択可）

子育て応援施設を利用したきっかけとして、「店舗の近くを通りがかって（ステッカーやのぼりを見て）」が最も多く、次いで「いつも利用する店舗なので」が多い結果となりました。

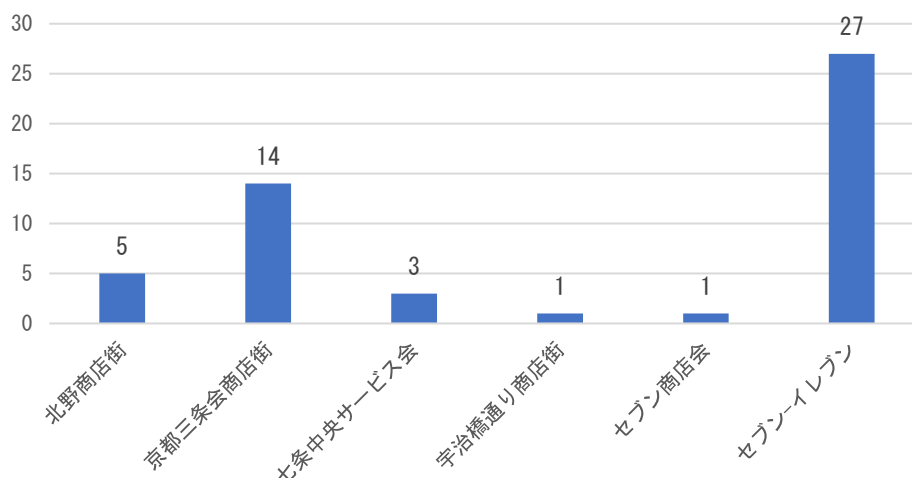
取組に参加した商店街、コンビニエンスストアはいずれも、近隣にお住まいの方の利用が多いと思われそうですが、通りがかりでも、子育て応援施設であることを示すステッカーやのぼりが店頭にあることで、目にとまりやすいという効果があったと考えられます。アンケートの自由記述回答でも、「のぼりが立っているだけで安心」「知らずに歩いて店舗に行ったが、入口に分かりやすいのぼりがあって分かった」「店頭でその店のサービスなどが分かりやすく表示されていると通りがかりでも利用しやすい」といった意見がありました。



（2）利用した子育て応援施設の店舗

利用した子育て応援施設の店舗として、利用者の概ね半数がセブン-イレブンの店舗を、残る半数が商店街の店舗を利用、との回答でした。

利用した子育て応援施設の店舗



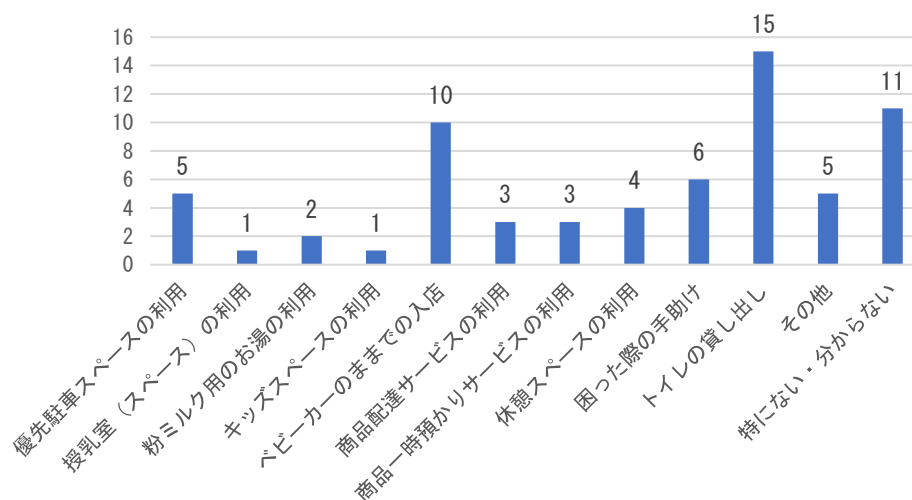
(3) 子育て応援施設で利用した取組（複数選択可）

子育て応援施設で利用した取組としては、「トイレの貸し出し」「ベビーカーのままの入店」の順に回答が多くありました。「子どもは我慢できないので、トイレがあればあるだけ助かる」との意見など、子ども連れでのお出かけではトイレの有無が重要であることが改めて明らかになりました。

「体調不良や子どもがぐずるなど、困った際の手助け」も3番目に多く、「店員さんが親切にしてくれた」「ぐずった時にお店の人が見守ってくれていてありがたい」「孤独感を抱えがちな親に声を掛けてくれる誰かがいてくれると思うと嬉しい」などの声がありました。

また、「その他」として、「子どもの買い物の相手をしてくれたので、子どもが買い物することが好きになった」といった意見もあり、お店の方との交流もお出かけの心理的負担を和らげることが明らかになりました。

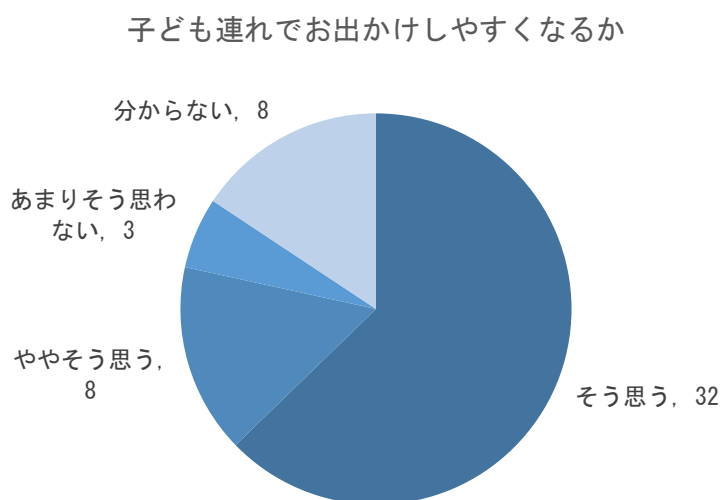
利用した取組（複数選択可）



(4) 子育て応援施設があれば子ども連れでお出かけしやすくなるか。

子育て応援施設の利用により、子ども連れでお出かけしやすくなるかという設問では、全体の 78.4%にのぼる利用者が「そう思う」「ややそう思う」と回答しました。その理由として、「サポートしてくれることが先に分かっていると、助けてほしいときをお願いしやすい」「困ったときに頼れる場所がたくさんあるのは安心」といった意見がありました。

一方、残る 21.6%の利用者が「あまりそう思わない」「分からない」と回答しましたが、その理由としては、「子育て応援施設の取組がまだ浸透していない」「掲示が分かりにくい」「その店舗でどんな取組があるか入る前に分からないと気軽に入りにくい」といった意見がありました。



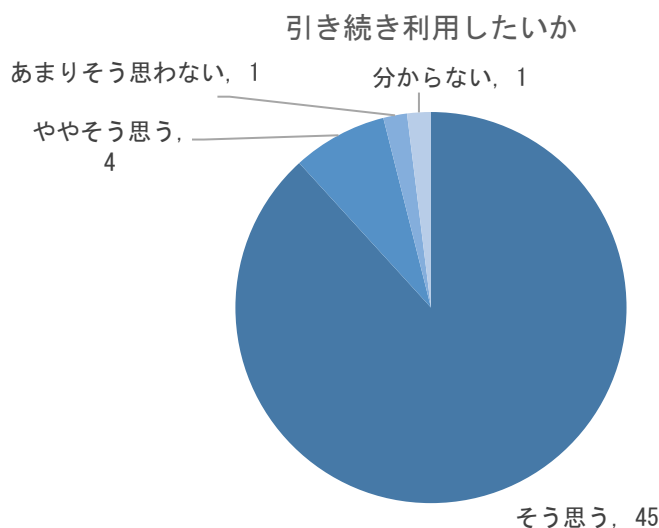
<「そう思う」「ややそう思う」の回答理由（主なもの）>

- 実際に気兼ねなく店舗を利用できた。
- サポートしてくれることが先に分かっていると、助けてほしいときをお願いしやすい。
- 急なおむつ替えや体調の変化など突然起こりうることで、少しの場所でも借りられるスペースが点々とあることが分かるだけありがたい。
- 孤独感を抱えがちな親に声を掛けてくれる誰かがいてくれると思うと嬉しい。
- 心の拠り所となる。
- 子どもの対応をしてくれる。子どもにやさしい。
- 小さな子どもを連れて行っても嫌な顔をされない。
- コンビニは通路が狭く、また、子どもがぐずった時に白い目で見られたり迷惑になったりすることが多いため避けていたが、子育て応援施設であると聞けば入店しやすくなる。
- 店員さんが明るい声でエコバッグを渡してくれ、良い意味で「コンビニなのに?!」と驚いた。

(5) 子育て応援施設を引き続き利用したいか。

子育て応援施設を引き続き利用したいかという設問では、全体の96.1%にのぼる利用者が「そう思う」「ややそう思う」と回答しました。

前述(4)の設問では、「子育て応援施設の取組がまだ浸透していない」「掲示が分かりにくい」等の意見もありましたが、こうした問題点が改善されれば、ほとんどの利用者が継続して子育て応援施設を利用したいという意向であることがうかがえます。実際に、「さらに子育て応援施設の地域を増やしてほしい」という声もありました。



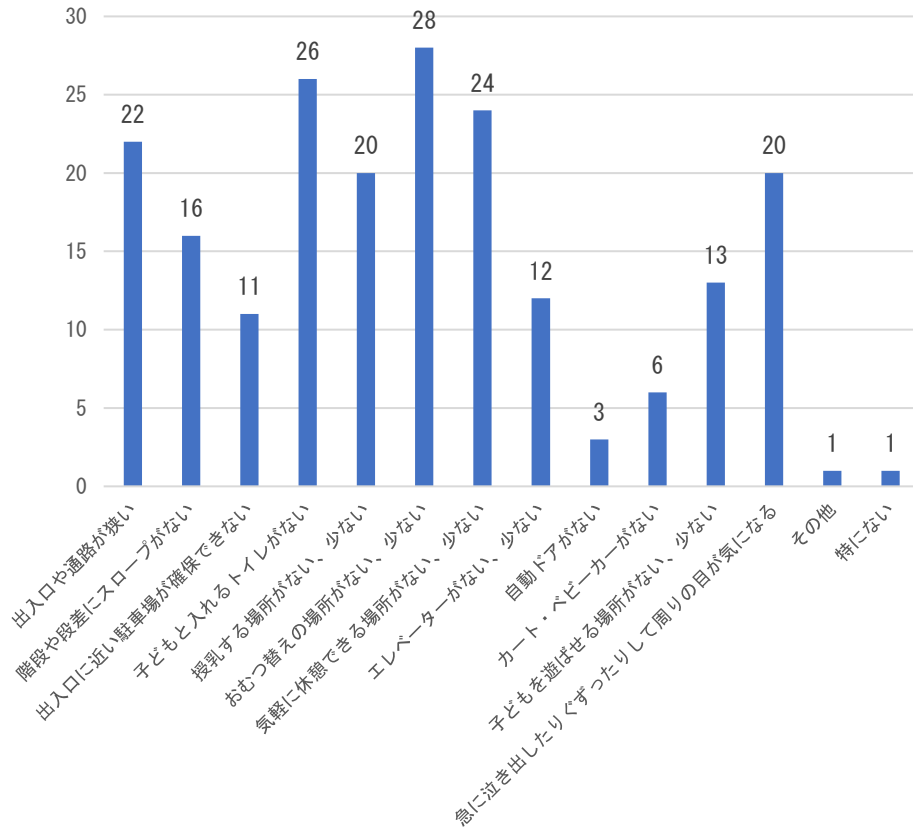
(6) 子ども連れのお出かけでの困りごと（複数選択可）

今後の子育て応援施設の取組を充実させるため、小さな子ども連れのお出かけでの困りごとについてもアンケートで質問しました。

「おむつ替えの場所がない、少ない」が最も多く、次いで、「子どもと入れるトイレがない、使いにくい」が多い結果となりました。おむつ替えの目的でトイレを利用する方も多いため、実際に子育て応援施設で利用した取組(前述(3))で「トイレの貸し出し」が最も多かった結果とも整合します。

続いて、「気軽に休憩できる場所がない、少ない」「出入口や通路が狭い」「急に泣き出したりぐずったりして周りの目が気になる」の順に回答が多くありました。おむつ替えやトイレ、出入口や通路は、店舗側の施設整備などハード面での対応が必要な場合もありますが、気軽に休憩できる場所や、急に泣き出したりぐずったりした時の対応などは、小さな店舗でも、店先の空いたスペースで休ませてあげたり、「休んでいったら」と声をかけたりするなど、店舗側の心遣い一つでできることも十分に考えられます。そうしたお店の方との心遣いも、子ども連れでのお出かけの十分な応援となり得ます。

子ども連れでの外出での困りごと（複数回答可）



(7) 子ども連れのお出かけがしやすくなる応援・手助け（自由記述）

最後に、行政サービスに限らず、民間企業等の取組も含め、「こんな応援・手助けがあれば子ども連れでもお出かけしやすくなる」といった意見を自由記述式で質問しました。

<子ども連れでお出かけしやすくなる応援・手助け（主なもの）>

- 試着の間など、少しの間だけでも子どもを見てもらえるとありがたい。
- 子どもと使える清潔なトイレ（子どもは洋式しか使えない。）。子どもを抱きかかえなくても手洗いできる場所
- 店舗のトイレを子どもと使えるように改修するなどが難しい場合でも、「ここに行けば子ども用トイレがある」といった情報を商店街全体で共有して教えてくれると助かる。
- 子どもが汗をかいたり、服が汚れたりした場合の着替えスペース（通常のトイレでは狭い。）
- 子どもが泣いたり、ぐずったりした時に、周りを気にせず休憩できる場所があるといい。抱っこで出かけた時の足腰の負担も大きい。
- 少しの間でも離乳食やおやつを食べさせる場所。通りの木陰や公共のオープンエアな場所などにイスがあるだけでもいい。

- 飲食店には個室があるといい。
- 公共交通機関の子ども優先スペース。騒いだり泣いたりしても周りが見守ってくれる空間づくり
- 広い通路やレジ。ベビーカーは場所を取るなので、行く方も申し訳なくなるし、行ける場所が限られる。
- ベビーカーに接続できる買い物かごカート。買い物の際、買い物かごを片手に持ち、もう片方の手でベビーカーを押すことになるので大変
- ベビーカーの時はエレベーターがあるといい。あっても、エレベーターが遠かったり、初めての場所では分かりにくかったりするので、分かりやすい表示があるといい。
- 子どもやベビーカーの乗り降ろしのため、ドアを大きく開きたいが、おもいやり駐車場は使えない（妊産婦のみ対象）ので、入口から離れていてもいいので、子どもがいる車両用の広めの駐車場があると嬉しい。
- 自転車での移動が多いので、子どもを乗せ降ろししやすい自転車の優先スペース
- 乳幼児だけでなく、小学生でも外出の際に遊ばせる場がなく時間を持て余して困ることがあるので、子ども歓迎の施設情報があるといい。
- 子どもを連れて出かけられる場所（雨の日も使用可能）。コロナの影響もあり、子どもが遊べる屋内スペースがさらに減っている。
- 子ども連れの買い物では両手がふさがることが多いので、買い物したものをエコバッグに入れるのを手伝ってくれると助かる（実際に今回コンビニで手伝ってくれたので、とてもありがたかった。）。
- おむつやおしりふきが安く買えるといい。急になくなる・忘れることも多く、荷物も多くなるので、お出かけではハードルが高い。
- 子どもが泣いていてもあたたかい目を見てほしい。

3 「リビング京都」への読者意見

子育て応援施設の取組を子育て家庭に向けて効果的に発信するため、子育て家庭の購読が多い「リビング京都」に、2週にわたって取材広告をシリーズ掲載しました（令和3年2月13日号及び2月20日号）。読者モニター及びプレゼント応募者から、2週合計で50件のコメントが寄せられました。

＜読者モニター・プレゼント応募者からのコメント（主なもの）＞

- 私が子育て（赤ちゃん期）していた時に感じていた、外出中などでおむつをかえるトイレがなかなか見つからない等が少しでもなくなれば良いなあ、と思っていたことが、今現在、子育て中のお父さん、お母さんの手助けになれば（なってるのでしょうか）とてもうれしい取組だと思います。もっと広がっていけば子育てがもっともっと楽しいものになるでしょう
- 子育て世代にはとてもありがたい支援です。せっかく支援をしてくださっていても実際は情報を知らないことがほとんどです。活字でしかも写真付きで紹介されているのは大変わかりやすいですし、その地域の方々に対しても好感も持てます。商店街全体で支援してくださっているということで、子連れでも買い物がしやすそうです。当たり前にあるコンビニにそういった支援が広がれば、助かる親もたくさんいると思います。
- 私の子育てしていた時より子どもが減ったせいもあるのか、子育てする親が肩身の狭い感じでおられるような気がします。こういったなか、支援が広がるのはいいことだと思います。子育てだけでなく介護者や障害者等についても、「お互いさま」として、あたたかい気持ちで見守れるような街になればいいなと思いました。
- 職場の子どもを育てている同僚たちと話していると、どこの地域が子どもを育てる環境・支援が整っているかという話題が結構あります。紹介されたような取り組みが広がればいいなあと思います。それとともに、こんな支援があるということを広く知らせていくことも大事かと思っています。子育て世代に役立つだけでなく、何か支援をしたいと思っている人たちの参考にもなると思います。
- とてもうれしい記事でした。
こどものおでかけは今でも不便なことが多く
地下鉄にはエレベーターが少なく、街には授乳室も少ない
少子化が進んでいる中で、この不便さだとさらに子どもを産みづらい環境だなと日々感じています。少しでも前向きな情報をもらえると誰かが応援してくれているような気がしてすごくうれしい気持ちになります

- 現在育児休暇中ですが、コロナの影響もあり外にほとんど行くことなく末っ子は一歳になりました。人慣れしていないせいで外出が大変です。こういった支援本当にありがたいです。泣き叫んで途中で何度出かけることを諦めたことか…。
- 子育て中は、外出に気を使われる方も多いので、心強くだらうなあと思いながら読んでいました。少子高齢化の時代、子どもは宝であるので、子育て世代にやさしい商店街が増えるといいなと思いました。
- これからも、(きょうと子育て応援施設が) 広がってほしいと思います。
- 色んな応援施設を少しずつでも紹介されるとお出かけしやすくなるのでは。こどもが小学生になったので、もう少し早く知りたかった！まだしばらくは活用できそうです
- 子育てを温かく応援 これからもこのコーナー続けてほしいです！子連れでのお出かけの参考になりそうです。
- 孫が生まれて「まもっぷ」を知りました。子育て応援施設、色んな所で利用できたらいいですね。
- なかなか子供を連れてのお出かけは、場所が限られていてまわりの方々に気を使うもの。そんな中でこの様な記事は、ありがたく心があたたかくなりました。ありがとうございます

〈令和3年2月13日号掲載記事〉

子育て環境日本一を目指して

京都府内で子育て世帯への支援が広がっています

きょうと子育て環境日本一推進委員会



のぼりを掲げ、セブン商店会「会長の林さん(左)と佐竹田さん(右)



利用した女性からは「近くにあれば授乳時間も気にせず出かけて便利」と好評

「きょうと子育て環境日本一」を推進する

「子育て世帯への支援が広がる」

「セブン」が子育て世帯への支援を推進している。セブンの店舗は、子育て世帯にとって身近な存在であり、子育て世帯への支援を推進している。セブンの店舗は、子育て世帯にとって身近な存在であり、子育て世帯への支援を推進している。

「セブン」が子育て世帯への支援を推進している。セブンの店舗は、子育て世帯にとって身近な存在であり、子育て世帯への支援を推進している。セブンの店舗は、子育て世帯にとって身近な存在であり、子育て世帯への支援を推進している。

きょうと子育て環境日本一推進委員会事務局(京都府健康福祉部 子育て支援課)

☎075(414)4602

〒600-8501 京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町

mkodomo@pref.kyoto.lg.jp

「きょうと子育て環境日本一」を推進する

「セブン」が子育て世帯への支援を推進している。セブンの店舗は、子育て世帯にとって身近な存在であり、子育て世帯への支援を推進している。セブンの店舗は、子育て世帯にとって身近な存在であり、子育て世帯への支援を推進している。

子育てをあたたく応援

「きょうと子育て応援施設」



子どもの外出を後押し

対象店舗の印印となるスタンプ

「きょうと子育て環境日本一推進委員会」では、「子育て環境日本一」を目指して、出産、子育て、教育など総合的な取り組みを行っています。現在、京都府内の商店街などで子育て世帯を支援するサービスが実施されています。

きょうと子育て環境日本一推進委員会

「アプリ「まもっふ」でも情報提供中

画面が遷移する。きょうと子育て応援パスポートアプリ「まもっふ」は、子どもの外出のために役立つスポットやイベント情報などが掲載されています。詳細は京都府のホームページ（<http://www.pref.kyoto.jp/kosodatezen/mamopp.html>）でも紹介。こちらからアプリのダウンロードも可。有効2次元コードからもアクセスできます。

スマートフォンはこちら

「京都三楽会商店街」で実施

「子育て環境日本一」を目指して、京都府内各地で「子育て応援施設」の取り組みが実施されています。その一つとして、京都府内各地の商店街で「子育て応援施設」の取り組みが実施されています。その一つとして、京都府内各地の商店街で「子育て応援施設」の取り組みが実施されています。

「子育て環境日本一」を目指して、京都府内各地で「子育て応援施設」の取り組みが実施されています。その一つとして、京都府内各地の商店街で「子育て応援施設」の取り組みが実施されています。

「きょうと子育て応援施設」実施店舗（京都府内7月31日現在）

- 北野商店街（京都市上京区）1店舗
- 京福三条会商店街（京都市中京区）19店舗
- 七条中央サービス街（京都市下京区）19店舗
- 宇治橋通り商店街（宇治市）4店舗
- エブリイ商店街（高槻市）7店舗
- エブリイショップ（長岡京市、京田辺市、木津川市）13店舗

4 店舗アンケート・聴き取り結果

今後、子育て応援施設の取組を府全域の他の店舗や施設等で展開していくため、本取組に参加した店舗に対し、アンケートと聴き取り調査を実施しました。

各店舗からの回答・意見は以下のとおりです（全回答数：56店舗、アンケート回収率：74%）。

（1）子育て応援施設の利用者数

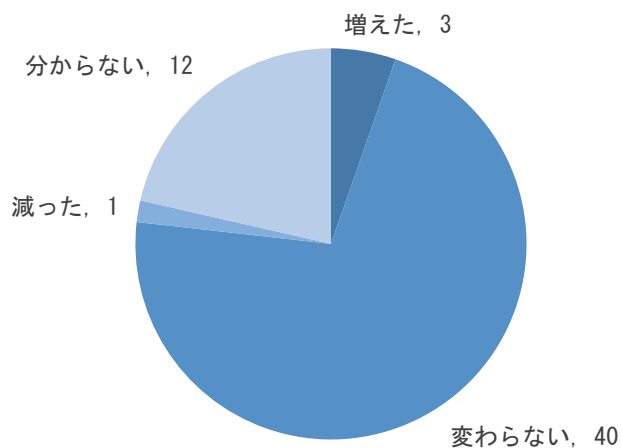
モデル事業の実施期間中、子育て応援施設となっている各店舗で、子ども連れの方向けの応援メニューを利用された方、または、この取組を知って来店された子ども連れの方の人数を尋ねました（期間延べ人数もしくは一日当たりの人数を回答）。回答のあった56店舗の数を集計したところ、期間中の利用者数は延べ約1,500人となりました。

（2）取組前後での子ども連れの来客の増減

子育て応援施設の取組の実施前後で、子ども連れのお客様に増減があったかという設問では、「増えた」との回答は5.4%にとどまり、「変わらない」が71.4%、「分からない」が21.4%と多くを占める結果となりました。

店舗からの聴き取りでは、「モデル事業の実施期間が年間で最も寒い時期であったこと、コロナの緊急事態宣言期と重なったことなどから、外出そのものが控えられ、商店街などでも人通りが少なかった」との意見がありました。また、「実施期間が1ヶ月半と短かったことも、取組の十分な周知・浸透につながらなかった要因ではないか」との声もありました。

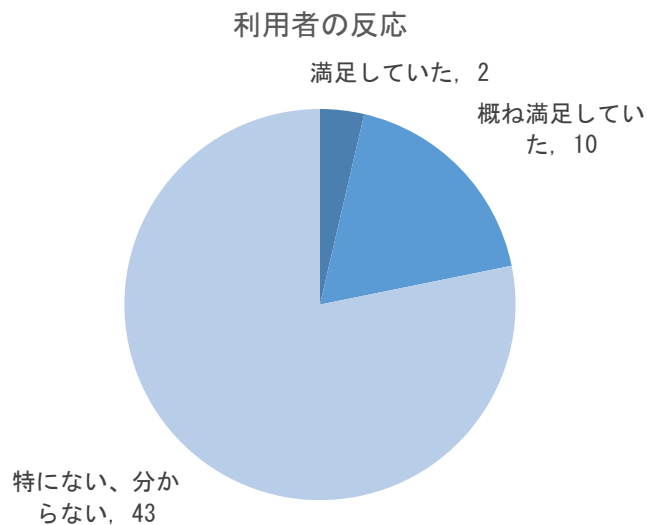
取組前後での子ども連れの来客の増減



(3) 利用者の反応

各子育て応援施設の利用者の反応については、「満足していた」「概ね満足していた」との回答が21.8%、「特にない、分からない」との回答が78.2%となりました。

「特にない、分からない」との回答については、前述(2)のとおり、モデル事業の実施時期や期間の問題から、評価が難しかったとの意見がありました。しかし、「満足していた」「概ね満足していた」との回答については、以下のような具体的な反応が見られたとの報告がありました。



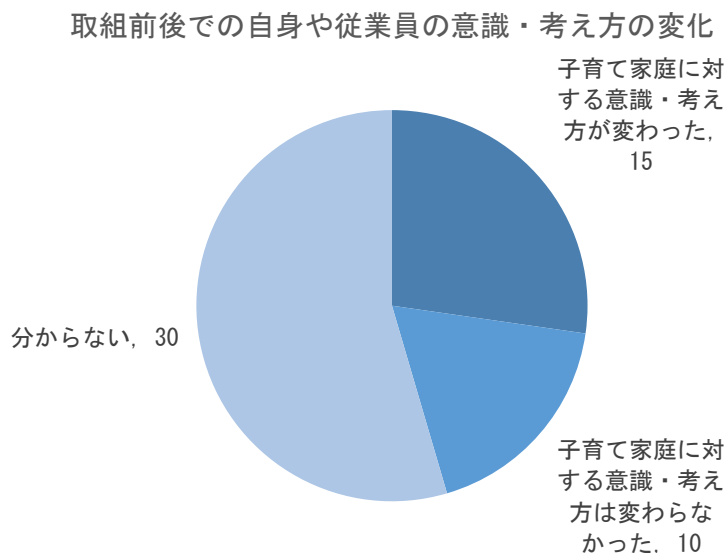
<利用者からの反応（態度・意見等）（主なもの）>

- 子育て環境が整っていくことに目が向けられている今回の取組自体を喜ばれていた。
- 子育て応援の表明が嬉しい、との声があった。
- キッズスペースや配送サービスが喜ばれた。
- ベビーカーで入店できることを喜ばれていた。
ベビーカーで施術ベッドの横まで入れて安心されている様子だった。
〔整骨院〕
- イベントの際、設置型ベビーケアルーム「mamaro」が好評だった。トイレと同じように必要、との声があった。
- 多種多様な商品があり、また来店したいとの意見があった（＝新たな顧客開拓につながった）。
- 食器の貸し出し、粉ミルク用のお湯の提供、離乳食のゴミの引き取りなど喜ばれた。〔飲食店〕
- （シンボルマーク（ベビーカーを押すまゆまる）の周知を促す）エコバッグの配布が大変喜ばれていた。

(4) 取組前後での自身や従業員の意識・考え方の変化

子育て応援施設の実施前後で、各店舗の事業主・従業員に子育て家庭に対する意識・考え方への変化があったかという設問では、「変わった」との回答が27.3%、「変わらなかった」との回答が18.2%、「分からない」との回答が54.5%となりました。

「分からない」との回答については、前述(2)のとおり、モデル事業の実施時期や期間の問題から、評価が難しかったとの意見がありました。「変わらなかった」との回答については、むしろ、「取組前から常に子育て家庭をお手伝いする意識があり、その意識は取組前後で変わらなかった」というコメントを回答選択の理由としている店舗が多く、マイナスの意味で「変わらなかった」という回答をされた店舗は少ないと推測されます。また、「変わった」との回答については、以下のような理由が示されており、子ども連れでの来客の増減に関わらず、店舗側のさらなる意識醸成に一定の効果があったものと考えられます。



<子育て家庭に対する意識・考え方の変化の理由(主なもの)>

- 地域的に高齢化が進んでいるが、子育てにもやさしい商店街づくりが重要だと思った。
- 子育て家庭に優しい商店街への取組をもっと推進しなければならないと思った。
- 何か変えていきたいと意識するようになった。
- 率先して子育てされている方のお買い物をサポートしようと考えようようになった。
- 声かけなどは以前からしていたが、少し踏み込んで困っていないか聞く勇気が持てた。
- 子ども連れで外出することの大変さを再確認できた。

- 小さな子どもがいることは大変なことだということを忘れていた。接して大変さを思い出した。
- 自身も生後数ヶ月の子どもを育てるタイミングで、子ども中心の生活になるとどうしても外出が簡単ではなくなり、このような施設や取組の重要性をリアルに感じた。
- 来店される方はおられなかったが、実際、子育て中の身としてはこのような取組は安心できる。

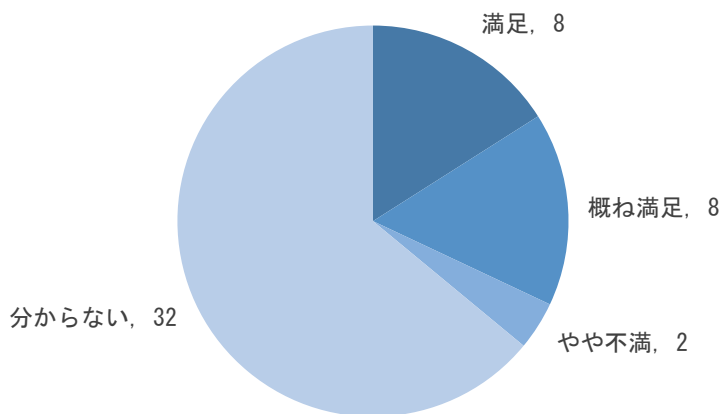
(5) 取組参加への全般的な評価

子育て応援施設の取組への参加について全般的な評価については、「満足している」「概ね満足している」との回答が 29.6%、「やや不満」「不満」との回答が 11.1%、「分からない」との回答が 59.3%となりました。

「分からない」との回答については、前述(2)のとおり、モデル事業の実施時期や期間の問題から、評価が難しかったとの意見がありました。「やや不満」「不満」との回答については、「取組が浸透していない」「何もしていない店との違いが分かりにくい」などの意見がありました。

また、「満足している」「概ね満足している」との回答については、以下のような理由が示されました。

取組参加への全般的な評価



<評価の理由(主なもの)>

- 今回の事業趣旨について様々な立場のお客様と話ができて、ほとんどの人々は困っている方を見つけると親切にする気持ちを持っていることに気がつけた。
- 子育て家庭に対して少しでも安心感を持ってもらえればよかった。
- 優しいお店が多いと、買い物が楽しくなると思う。

- 小さなお子さんのおられるお母さんに、安心してお買い物や外食できるお手伝いできて良かったと思う。
- 通年でこのような取組をするべきであることの意識付けになった。
- 離乳食やベビーカー持ち込みのお客が増えた。
- 取組のステッカーを貼っていることによって、店の前で立ち止まる方が多かった。
- 行政による広報支援がありがたかった。
- ママ世代のニーズをもっと知ることができたらいい。

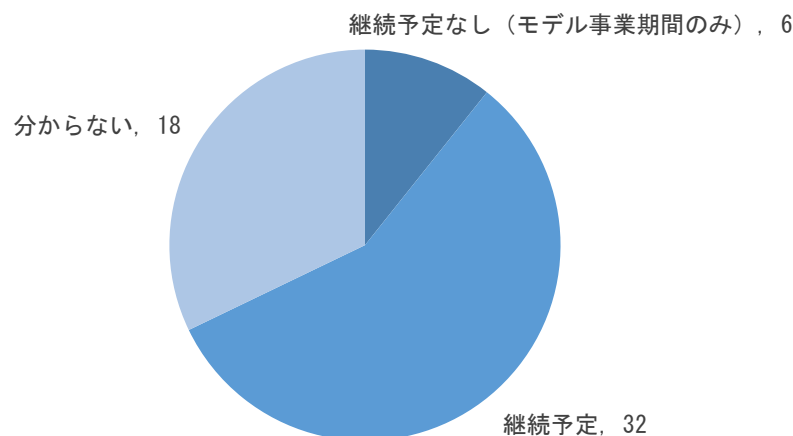
(6) 今後の取組継続意向

今後も継続して子育て応援施設の取組に取り組む意向があるかという設問では、「継続予定」との回答が 57.1%で最も多く、「継続予定なし（モデル事業期間のみの実施）」との回答が 10.7%、「分からない」との回答が 32.1%となりました。

「分からない」との回答については、前述（2）のとおり、モデル事業の実施時期や期間の問題から評価が難しく、取組継続について検討中であるとの意見がありました。「継続予定なし（モデル事業期間のみの実施）」の回答については、前述（5）の全般的な評価と同様、「取組が浸透していない」ことが回答理由とされており、「行政からお客様への周知を強めるべき」との意見がありました。

また、「継続予定」との回答については、以下のような意見がありました。

今後の取組継続意向



<継続に向けた意見（主なもの）>

- このような目的の施設があることのPRができたことにおいて、一定の成果があったと思う。

- 少しでも喜んでもらって良かった。
- この取組が単発に終わらず継続していけるように、年に数回啓発活動を行ったらどうか。また、他の活動（地域の子育て支援活動）との連携を強化していけばいいと思う。
- 子育て家庭にやさしい商店街という面を認知してもらえそうな施策の必要性を感じた。
- 商店街がもっと活気づくように努力することが必要
- 各店の意識の問題だが、基本的には商店街全店で取り組むといい。
- 自店のトイレをリフォームして、おむつ交換台を設置したい。
- 小さな小売店では限界がある。商店街の一角に授乳室などがあるのがベスト
- 設置型ベビーケアルーム「mamaro」のモデル設置で、授乳室常設希望の声が多数あったため、商店街として機能を確保していきたい。
- 店舗PR用のステッカーやのぼりにQRコードを入れ、そこから取組施設を確認できるといい。
- 店舗PR用ののぼりは、小さい個人店では設置できるスペースがなかったりするので、PRの方法をもう少し工夫できるようにしてほしい。
- エコバッグが好評
- 緊急事態宣言で外出自粛の時期が重なったこともあり、実施期間が短かったように感じた。もっと長期間で実施すべき。

5 今後の取組に向けて

令和2年度の子育て応援施設の取組については、モデル事業の実施期間が年間で最も寒い時期であったこと、コロナの緊急事態宣言期と期間が重なったことから、外出そのものが控えられ、商店街などでも人通りが通常以上に少ない状況となりました。加えて、実施期間自体も1ヶ月半と短かったため、取組に参加した店舗からは、子ども連れでの来客の増減や利用者の反応、取組前後での店舗側の意識・考え方の変化など全般を通じて、「効果の検証自体が難しい」との意見が最も多く聞かれました。子育て応援施設の取組は、令和3年度も継続して実施する予定としていますが、実施時期・期間については、こうした意見に十分に配慮して設定する必要があります（子ども連れでのお出かけの多い夏季の実施とし、実施期間も3ヶ月程度を確保する、など）。

一方で、一部の参加店舗からは、「子ども連れで外出の大変さを再確認できた」「以前から声かけなどしていたが、少し踏み込んで困っていないか聞く勇気が持てた」など、プラス面での意識・考え方の変化があったとの意見がありました。今回の取組が、もともと子育て支援への意識の高い店舗にとっても、さらに一歩踏み込んで、子育て家庭に寄り添う具体的な行動を起こす機会、子育て応援の気運の底上げの機会につながったと考えられます。

また、利用者からも、取組について好評価をいただき、アンケートでは多くの方から「子育て応援施設があることでお出かけしやすくなる」「今後も引き続き利用したい」「もっと子育て応援施設が増えてほしい」との声をいただきました。子育て応援施設の取組は、商店街やコンビニエンスストアをはじめ、府民に身近な施設において、ステッカーやのぼりなどの目にとまりやすいツールを活用し、地域全体で子育てを応援する気持ちを子育て家庭に面的・視覚的に発信することで、子育て家庭が「子育てを応援されている」と感じられるような環境をつくるのが最大の目的です。このため、今後は、地域のあらゆる地域でステッカーやのぼりが子育て家庭の目にとまるよう、取組に参加する店舗を継続的に掘り起こし、面的に拡大させるとともに、子育て家庭への周知・広報を強化していくこととします。

取組の面的な拡大だけでなく、取組の内容の充実もまた重要です。今回の取組では、トイレの貸し出しやベビーカーのままでのお店などの応援メニューの提供・利用が多くありましたが、子ども連れでのお出かけでは、この他にも様々な困りごとがあります。これらの困りごとについては、施設改修などのハード整備を伴わず、各店舗の創意工夫で対応できるものもあります。以下には、子ども連れでのお出かけでの困りごとと、それに対する応援の取組例をまとめています。今後の取組展開に当たっては、以下の例も参考に、各店舗でのさらなる創意工夫を働きかけていくこととします。

＜子育て応援の取組例＞

	子ども連れでのお出かけでの困りごと例	応援の取組例	
施設	1	狭い商店街を自転車がスピードを出して走るので、赤ちゃんを抱いて歩いている時や小さい子どもと一緒に歩くとヒヤヒヤ(小さい子どもは突然走り出しがちで怖い！)	<input type="checkbox"/> 商店街内の歩車分離 <input type="checkbox"/> 商店街内に駐輪場を複数設置し、商店街内を歩行者天国化
	2	駐車場が狭く、ベビーカーが出し入れしにくい！	<input type="checkbox"/> 面積に余裕のある「子ども同伴優先駐車スペース」の設定
	3	幅の大きい子ども乗せ自転車は駐輪場に停めにくいし、子どもの乗り降ろしも大変！	<input type="checkbox"/> 面積に余裕のある「子ども同伴優先駐輪スペース」の設定
	4	表示を見てもエレベーターのある場所が分かりにくい…	<input type="checkbox"/> エレベーター設置箇所の分かりやすい案内表示
	5	子ども連れのお出かけは荷物がいっぱい。ベビーカーでエレベーターに乗りたいたけれどずっと満員で乗れない！（譲ってもらえない）	<input type="checkbox"/> 「子ども同伴優先エレベーター」の設定
	6	授乳する場所がない。	<input type="checkbox"/> 授乳室・授乳スペース（簡易移動式授乳室を含む。）の設置 <input type="checkbox"/> 電子レンジや調乳機器、給湯器（72℃設定）の設置
	7	おむつ替えの場所がない。	<input type="checkbox"/> おむつ替えスペースの設置
	8	子どもと一緒に使えるトイレがない。	<input type="checkbox"/> 子どもと一緒に使えるトイレ（洋式、子ども用便座、子ども用手洗い場）の設置
	9	外歩きなどで疲れた時や、離乳食やおやつを食べさせたい時に、気軽に座ったり休憩したりできる場所がない。	<input type="checkbox"/> 子ども同伴優先休憩スペース（ベンチ等）の設置
	10	お店の出入口に段差があるのに、スロープがついていないので、ベビーカーで入りにくい！	<input type="checkbox"/> 店舗等出入口へのスロープ整備
	11	保険の相談、治療や散髪などは時間が掛かるので、子どもが退屈しがち…	<input type="checkbox"/> 子どもが遊べるキッズスペースの設置 <input type="checkbox"/> 絵本・おもちゃ等貸出サービスの実施
サービス	12	子ども連れだと、買い物のレジやATMの長蛇の列に並ぶだけでも一苦労	<input type="checkbox"/> 店舗のレジやATMコーナー等における「子育て応援レーン」（子ども同伴優先レーン）の設定
	13	ベビーカーでぐずると困るので、ママ一人での買い物やお出かけはほとんど抱っこ	<input type="checkbox"/> 店舗・商店街等でのカート・ベビーカーのレンタル
	14	お出かけ先にカート・ベビーカーがない！	
	15	電車やバスはパパと一緒に乗ると利用しにくいし、抱っこでのお出かけも疲れる。	<input type="checkbox"/> 子育て世帯に優しい「子育てタクシー」の導入
	16	買い物の帰りに子どもが眠ってしまうと、買い物袋や荷物を手に子どもを抱っこして帰らなければならないと大変！	<input type="checkbox"/> 妊婦・子ども同伴の方向け商品配達・一時預かりサービスの実施 <input type="checkbox"/> 店舗・商店街等と「子育てタクシー」との連携による送迎・宅配サービスの実施
	17	買い物に出たいけれど、子どもが新型コロナやインフルエンザなどにかからないか心配	<input type="checkbox"/> 「妊婦・子ども同伴優先営業時間帯」の設定
	18	子どもが泣いたら嫌な顔をされないか、ベビーカーが邪魔になっていないかなど、周りの目が気になる…	<input type="checkbox"/> 店舗や商店街等に「何かお困りですか」と積極的に子連れの親に話しかけるスタッフ（「子育てたすけ隊」）や親が助け
	19		

20	お出かけ用のおむつや着替えなどたくさんの荷物とベビーカーを持った状態で子どもが泣き出すと、あやすこともできずあたふた	を求められる場所（「子育て駆け込み寺」）を設置
21	子どもが商品をお突いて傷つけないか、走り回らないかと気をつけながらの買い物は疲れる…	□店舗内サービスセンターや商店街内のコミュニティスペース等での「子ども一時預かりサービス」の実施
22	赤ちゃんを連れながら上の子をトイレに連れて行くのは、一人のお出かけでは大変！ちょっとした間でも子どもを見ていてもらえると助かる…	